



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp/hd>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 杉本 眞
 (氏名) 山口 芳典

TEL 058-323-7647

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,957	△9.2	△434	—	△431	—	△297	—
23年3月期第2四半期	5,459	△2.5	△487	—	△460	—	△307	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △314百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △286百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△46.54	—
23年3月期第2四半期	△48.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
24年3月期第2四半期	8,649		4,881		56.4		763.84	
23年3月期	9,698		5,275		54.4		825.60	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,881百万円 23年3月期 5,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	11.5	150	23.8	160	3.3	77	64.2	12.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) レシップエスエルピー株式会社、除外 1社 (社名)

詳細は、添付資料P3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,399,100 株	23年3月期	6,399,100 株
24年3月期2Q	8,817 株	23年3月期	8,797 株
24年3月期2Q	6,390,289 株	23年3月期2Q	6,390,378 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の作成時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要により、一部の業種において改善の傾向が見られますものの、欧米の景気後退や円高による輸出環境の悪化や、長引く内需の低迷により、非常に先行きの不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましても、節電・省エネ意識の高まりを背景に、S&D事業においてはLED電源や蛍光灯型LED灯具の売上が、また、産業機器事業においては震災後の需要回復を背景に、バッテリー式フォークリフト用充電器や、次世代PHS基地局用の電源の販売が増加いたしました。一方で輸送機器事業においては、バス事業者様を中心に政治経済の情勢不安による設備投資への慎重な姿勢が顕著に見られたことにより、主力のバス市場向け製品の売上が低迷いたしました。

損益面につきましては、S&D事業及び産業機器事業の改善と併せ、グループ全体での業務効率の向上による経費削減活動に努めたことにより、前年同期に比べ損失幅は縮小いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高49億57百万円（前年同期比9.2%減）、営業損失4億34百万円（前年同期は4億87百万円の営業損失）、経常損失4億31百万円（前年同期は4億60百万円の経常損失）、四半期純損失2億97百万円（前年同期は3億7百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(輸送機器事業)

当事業の売上高は、前年同期比27.0%減の25億30百万円、営業損失は4億47百万円（前年同期は2億72百万円の営業損失）となりました。

市場別の売上高は、バス市場向け製品が前年同期比35.7%減の16億98百万円、鉄道市場向け製品が前年同期比1.7%減の5億16百万円、自動車市場向け製品が前年同期比5.7%増の3億15百万円となりました。

主力のバス市場向け製品につきましては、北米向けのバス用乗り継ぎ発券機や、シンガポール向けのLED式行先表示器などの納入により海外向け売上高は増加いたしました。国内市場については、バス用ICカードシステムや運賃箱が需要の端境期にあることや、バス事業者様において設備投資を見合わせる傾向が続いたこと、並びに震災の影響により上期に予定していた売上の一部が下期以降にずれ込んだことなどが響き、大幅な減収となりました。

鉄道市場向け製品につきましては、ほぼ前年並みの売上で推移いたしました。

自動車市場向け製品につきましては、トラックの生産台数が震災直後の落ち込みから早期に回復したこと、またLED灯具の市場導入を積極的に推進したことにより増収となりました。

(S&D事業)

当事業の売上高は、前年同期比84.3%増の7億8百万円、営業損失は21百万円（前年同期は1億35百万円の営業損失）と、前年同期に比べ、売上高・営業損失ともに大幅に改善いたしました。

震災による自粛ムードが続くなか、ネオンサインに用いるネオン変圧器の販売が大きく落ち込む一方、節電・省エネ意識の高まりを背景とするLED照明市場の急速な拡大が追い風となり、LED電源や蛍光灯型LED灯具の売上が大幅に増加いたしました。

損益面につきましても、収益力強化に向けた製品単価の改善と生産コストの圧縮を推進したことにより、依然として厳しい収益状況でありますものの、前年同期に比べ大幅に改善いたしました。

(産業機器事業)

当事業の売上高は、前年同期比5.4%増の16億95百万円、営業利益は60百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となりました。

フォークリフトメーカー各社の早期の生産回復により、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が増加いたしましたほか、次世代PHS基地局用の電源や、自家発電機用の自動運転装置なども堅調に推移いたしました。

また、連結子会社レシップ電子株式会社のプリント基板実装事業では、震災の影響により自動車用電装品基板の売上は出遅れたものの、産業機械用インバータ基板が好調に推移し、収益が改善いたしました。併せて事業全体での生産の効率化と経費削減を推進したことにより、当事業においては、第1四半期連結累計期間に続き営業利益を確保いたしました。

(その他)

当事業の売上高は22百万円、営業利益は1百万円となりました。収益の内容は、レシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は86億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億48百万円減少いたしました。流動資産は58億95百万円と10億23百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が11億63百万円、現金及び預金が3億48百万円、それぞれ減少したことによるものです。固定資産は27億54百万円となり24百万円減少いたしました。有形固定資産は15億62百万円と13百万円減少いたしました。無形固定資産は1億10百万円と7百万円減少いたしました。投資その他の資産は10億81百万円と3百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は37億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億53百万円減少いたしました。流動負債は31億44百万円と3億40百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が2億44百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が3億69百万円、未払法人税等が1億55百万円、それぞれ減少したことによるものです。固定負債は6億23百万円と3億13百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金3億16百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は48億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円減少いたしました。主な要因は、当四半期純損失の計上2億97百万円、配当金の支払い78百万円等による利益剰余金の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は5億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は76百万円となりました。これは主に売上債権の減少(11億63百万円)、減価償却費の計上(1億28百万円)があった一方で、税金等調整前四半期純損失の計上(4億47百万円)、仕入債務の減少(3億72百万円)、たな卸資産の増加(2億63百万円)があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億5百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出(72百万円)、投資有価証券の取得による支出(22百万円)、があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億66百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入(50百万円)があった一方で、長期借入金の返済による支出(1億22百万円)、配当金の支払額(78百万円)、があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、内需の停滞や為替の高止まりなど、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、輸送機器事業においては、下期よりバス用ICカードシステムの納入が見込まれることや、車載用液晶表示器OBC及びバス停・バスターミナル用表示器等のPIS (Passenger Information System) 関連商品の拡販が見込まれること、またS&D事業及び産業機器事業においても、LED関連市場の拡大や震災後の需要回復を背景に、引き続き堅調に推移する見通しであることから、平成23年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であるレシップ株式会社は、平成23年4月1日をもって、新設分割の方法による会社分割を行い、同社が営む事業の一部を新設する子会社2社（レシップエスエルピー(株)及びレシップエンジニアリング(株)）に承継し、第1四半期連結会計期間から連結子会社としました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953,347	604,386
受取手形及び売掛金	4,115,458	2,951,499
商品及び製品	331,931	351,387
仕掛品	364,907	459,608
原材料及び貯蔵品	686,473	835,386
その他	468,569	694,713
貸倒引当金	△1,900	△1,867
流動資産合計	6,918,786	5,895,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,151,352	1,127,807
その他(純額)	425,027	434,941
有形固定資産合計	1,576,380	1,562,748
無形固定資産	118,021	110,379
投資その他の資産		
投資有価証券	402,603	396,303
その他	726,842	729,699
貸倒引当金	△44,247	△44,247
投資その他の資産合計	1,085,198	1,081,756
固定資産合計	2,779,600	2,754,883
資産合計	9,698,386	8,649,997
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,146,009	1,776,915
1年内返済予定の長期借入金	235,975	480,335
未払法人税等	177,042	22,016
賞与引当金	183,099	291,814
製品保証引当金	53,151	55,779
その他	690,061	518,090
流動負債合計	3,485,339	3,144,951
固定負債		
長期借入金	626,923	310,209
退職給付引当金	14,120	16,140
その他	296,174	297,566
固定負債合計	937,217	623,915
負債合計	4,422,557	3,768,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,645	735,645
資本剰余金	719,406	719,406
利益剰余金	3,838,438	3,461,174
自己株式	△14,104	△14,117
株主資本合計	5,279,385	4,902,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,035	19,481
為替換算調整勘定	△40,591	△40,459
その他の包括利益累計額合計	△3,555	△20,978
純資産合計	5,275,829	4,881,130
負債純資産合計	9,698,386	8,649,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,459,424	4,957,333
売上原価	4,678,754	4,135,888
売上総利益	780,669	821,445
販売費及び一般管理費	1,268,437	1,256,384
営業損失(△)	△487,767	△434,939
営業外収益		
受取利息	247	23
受取配当金	1,570	2,292
不動産賃貸料	24,016	—
助成金収入	1,403	3,546
輸入関税還付金	6,739	—
作業くず売却益	4,907	6,468
その他	9,324	7,893
営業外収益合計	48,209	20,224
営業外費用		
支払利息	6,935	5,779
債権売却損	450	257
賃貸収入原価	5,591	—
為替差損	6,967	10,388
その他	801	1
営業外費用合計	20,746	16,427
経常損失(△)	△460,305	△431,142
特別利益		
固定資産売却益	48,277	—
受取補償金	37,980	—
特別利益合計	86,258	—
特別損失		
固定資産売却損	323	79
固定資産廃棄損	344	52
投資有価証券評価損	43	—
関係会社出資金評価損	—	16,381
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,224	—
特別損失合計	2,936	16,513
税金等調整前四半期純損失(△)	△376,983	△447,655
法人税、住民税及び事業税	2,708	2,451
法人税等調整額	△72,346	△152,722
法人税等合計	△69,637	△150,270
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△307,345	△297,384
四半期純損失(△)	△307,345	△297,384

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△307,345	△297,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,621	△17,553
為替換算調整勘定	29,248	131
その他の包括利益合計	20,626	△17,422
四半期包括利益	△286,718	△314,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286,718	△314,806
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△376,983	△447,655
減価償却費	141,137	128,707
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27,114	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,044	108,715
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,192	2,627
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,690	2,020
受取利息及び受取配当金	△1,818	△2,315
支払利息	6,935	5,779
固定資産売却損益(△は益)	△47,954	132
固定資産廃棄損	344	—
関係会社出資金評価損	—	16,381
売上債権の増減額(△は増加)	2,097,407	1,163,943
たな卸資産の増減額(△は増加)	△404,087	△263,069
仕入債務の増減額(△は減少)	△599,682	△372,296
信託受益権の増減額(△は増加)	△24,055	△20,264
未払金の増減額(△は減少)	△59,794	△241,653
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,835	26,240
その他	△59,461	△29,863
小計	688,390	77,413
利息及び配当金の受取額	1,822	2,314
利息の支払額	△5,981	△7,335
法人税等の還付額	—	16,421
法人税等の支払額	△45,670	△165,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	638,561	△76,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,088	△72,244
有形固定資産の売却による収入	90,490	180
無形固定資産の取得による支出	△10,511	△9,180
投資有価証券の取得による支出	△2,337	△22,844
その他	△31,859	△1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,307	△105,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△660,000	—
長期借入れによる収入	300,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△84,956	△122,354
自己株式の取得による支出	△54	△13
配当金の支払額	△95,497	△78,167
その他	△6,019	△15,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△546,527	△166,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,819	△201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,546	△348,960
現金及び現金同等物の期首残高	524,045	883,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	573,592	534,386

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・販売市場別に成長の方向性を立案し、事業活動を展開しております。したがって、「輸送機器事業」、「S&D事業」及び「産業機器事業」の3つを報告セグメントとしております。

「輸送機器事業」は、バス・鉄道用システム機器、車載用照明機器などの製造販売を行っております。「S&D事業」は、ネオン変圧器、屋外蛍光灯看板用電子安定器、LED電源などの製造販売を行っております。

「産業機器事業」は、物販用途向け共用読み取り端末、無停電電源装置、バッテリー式フォークリフト用充電器の製造販売、プリント基板の実装であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

	報告セグメント				合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S & D事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)	
売上高					
外部顧客への売上高	3,467,211	384,666	1,607,547	5,459,424	5,459,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,467,211	384,666	1,607,547	5,459,424	5,459,424
セグメント損失(△)	△272,708	△135,213	△17,972	△425,894	△425,894

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△425,894
全社費用(注)	△61,873
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△487,767

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・販売市場別に成長の方向性を立案し、事業活動を展開しております。したがって、「輸送機器事業」、「S&D事業」、「産業機器事業」及び「その他」の4つを報告セグメントとしております。

「輸送機器事業」は、バス・鉄道用システム機器、車載用照明機器などの製造販売を行っております。「S&D事業」は、ネオン変圧器、屋外蛍光灯看板用電子安定器、LED電源、蛍光灯型LED灯具などの製造販売を行っております。「産業機器事業」は、物販用途向け共用読み取り端末、無停電電源装置、バッテリー式フォークリフト用充電器の製造販売、プリント基板の実装であります。「その他」は地代収入等であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円)	合計 (千円)
	輸送機器事業 (千円)	S&D事業 (千円)	産業機器事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,530,888	708,977	1,695,084	4,934,950	22,382	4,957,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,530,888	708,977	1,695,084	4,934,950	22,382	4,957,333
セグメント利益又は 損失(△)	△447,675	△21,715	60,410	△408,980	1,943	△407,036

(注) 「その他」の区分は、不動産賃貸事業であります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△408,980
その他の利益	1,943
全社費用(注)	△27,902
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△434,939

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。